

# 国立市

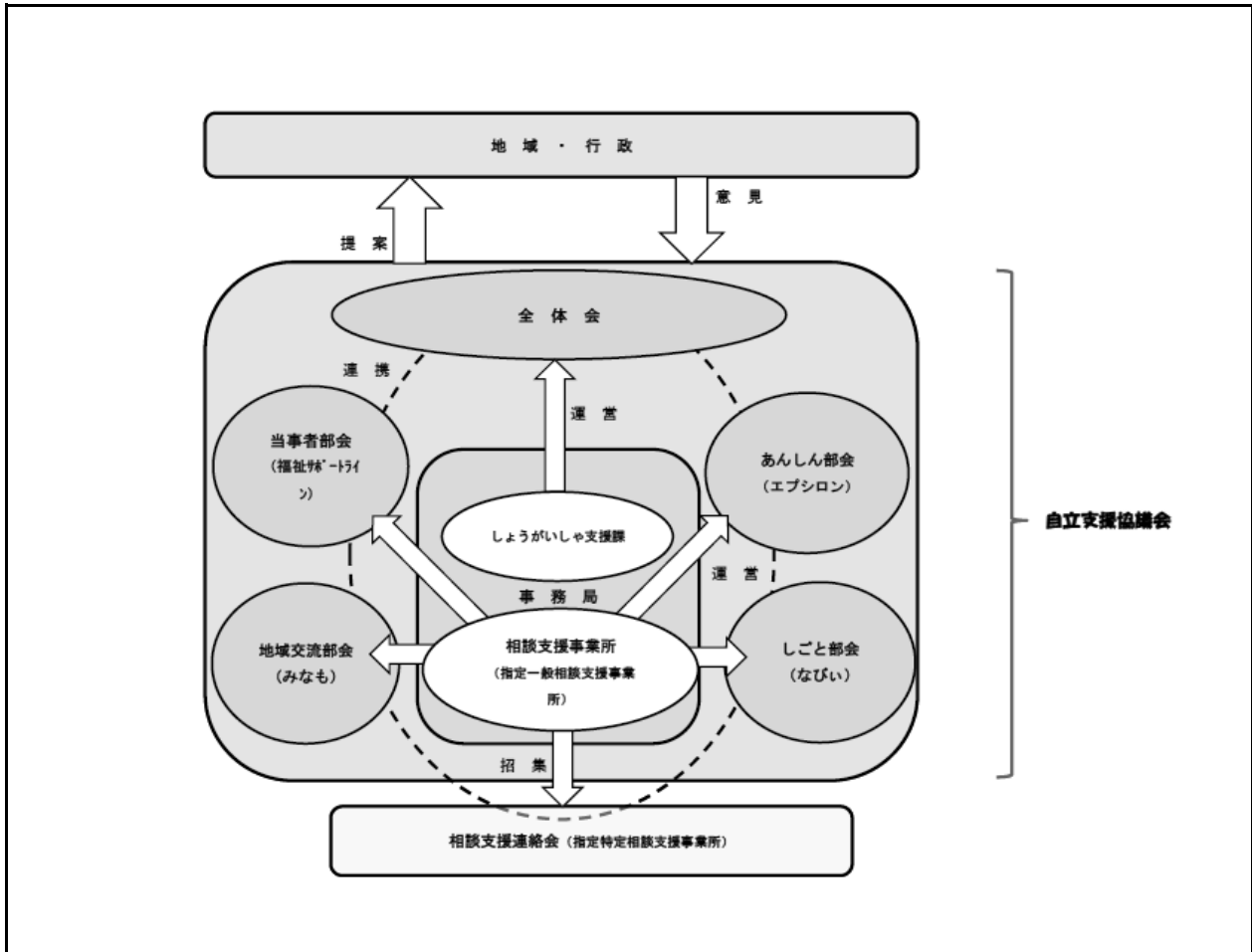
【名称】 国立市自立支援協議会

【ホームページURL】 未設置

【設置年月】 平成25年7月

【運営方法】 直営

【組織図】



## 【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター数	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行支援	地域定着支援		
0	3	4	4	10	7

## 【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
③ 検討中	未定	② 面的整備型

## 【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
③ なし	—

## 【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数

全体会	
回数	委員数
1	11 (2)

専門部会の活動回数及び委員数

部会名	回数	委員数
あんしん部会	0	12 (2)
しごと部会	3	17 (2)
地域交流部会	5	11 (1)
当事者部会	7	9 (9)

※「委員数」の（ ）：障害当事者（本人）で委員に就任されている方的人数（再掲）

## 【全体会の委員構成及び活動内容】

### （１）委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	1	医療関係者	1	保健所	0
教育関係機関	1	雇用関係機関	0	企業	0
障害当事者・家族・関係団体	4	身体・知的障害者相談員	0	相談支援事業者	1
障害福祉サービス等事業者	2	社会福祉協議会	1	法曹関係者	0
民生委員・児童委員	0	地域住民	0	行政職員（区市町村）	0
行政職員（都）	0	その他	0		
合計	11				

### 委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	会長	堀江 まゆみ	学校法人白梅学園 白梅学園大学	学識経験者	
2		新井 ゆみ	国立市医師会	医療関係者	
3		川畑 淳子	国立市教育委員会	教育関係機関	
4		松田 周平	国立市社会福祉協議会	社会福祉協議会	
5		千田 美穂子	市民代表	障害当事者・家族・関係団体	
6		芳賀 弘幸	市民代表	障害当事者・家族・関係団体	
7		北本 雅子	市民代表	障害当事者・家族・関係団体	
8		宇賀神 佳子	国立市手をつなぐ親の会	障害当事者・家族・関係団体	
9		伊藤 英治	就労移行支援事業所ポートビズ	障害福祉サービス等事業者	
10		新井 寛	特定非営利活動法人福祉サポートライン・くにたち	障害福祉サービス等事業者	
11		古旗 真幸	一般社団法人たまぶらねっと	相談支援事業者	

### （２）活動内容

各専門部会における活動報告・意見交換  
 地域課題解決における自立支援協議会の活用についての協議

【専門部会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

種 別	部 会 名			
	あんしん部会	しごと部会	地域交流部会	当事者部会
学識経験者	0	0	0	0
医療関係者	1	0	0	0
保健所	1	0	0	0
教育関係機関	0	1	0	0
雇用関係機関	0	2	0	0
企業	0	2	0	0
障害当事者・家族・関係団体	3	4	1	7
身体・知的障害者相談員	0	0	0	0
相談支援事業者	2	2	4	2
障害福祉サービス等事業者	0	5	4	0
社会福祉協議会	1	0	1	0
法曹関係者	0	0	0	0
民生委員・児童委員	1	0	0	0
地域住民	1	0	0	0
行政職員(区市町村)	1	1	1	0
行政職員(都)	1	0	0	0
その他	0	0	0	0
計	12	17	11	9

(2) 活動内容

部会名	活動内容
あんしん部会	令和3年度の活動は行わなかった。
しごと部会	「おしごと体験」とよばれる企業への実習の協力先の確保、開拓などを行い、市内にあるNHK学園等から協力をいただき、令和3年度においては述べ15人以上当事者の就労支援を行った。
地域交流部会	触法しようがいしゃ・虞犯しようがいしゃなどに関する支援・地域交流を予定。令和3年度に関しては、触法しようがいしゃを含む社会的トラブルを抱える当事者に関するアンケートを市内100の事業所に対して行った。
当事者部会	しようがい者理解を深めるための市職員向けの研修を企画中。その準備として、庁内でのアンケートを行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、今年は研修の開催を断念した。

【地域協議会の活動状況】

1 地域協議会の協議事項（複数回答）

⑦ 関係機関や他分野のネットワークに関すること

災害に関するネットワークに関しての構築について

⑫ 地域自立支援協議会の運営に関すること

今後の運営方針について。専門部会の再編について

2 地域協議会としての役割（複数回答）

② 情報共有・情報発信

しょうがい児の学校から学童への移動の課題の市役所庁内での検討の過程や結果などを共有した。

⑤ 地域課題の整理

各部会・事務局から上がってくる課題について整理・検討する。

3-1 地域協議会における地域課題

① あがっている

3-2 地域課題の把握方法（複数回答）

② 全体会、専門部会、各種連絡会等

③ 個別支援会議

3-3 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

① 相談支援の質及び量

個別の相談事例から共通する課題を抽出し、地域の課題とし認識し、地域で解決できる仕組みづくりを構築するための相談支援について協議の継続

② 社会資源の開発及び改善

地域生活拠点の整備について早急に対応が必要であったが、取り組むことができなかった。

3-4 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

⑤ 福祉人材（マンパワー）の確保

福祉人材の不足については、多くの地域で課題となっているところである。広域又は東京都全域での対応が必要と考える。

⑥ 緊急・災害対応

災害時は避難区域が行政区を大きく超える場合も想定されるため、広域又は東京都全域における取組が必要と考える。

4 地域協議会における当事者の参画状況

（当事者の委員がいる区市町村）

4-1 (1) 当事者委員が、どのような経緯で委員に選任されたか、又は、どのような所属、背景、経歴等の方か

各部会からの紹介等により選任された。

(2) 多様な当事者の委員（障害や難病の種別、性別、年齢等）に参加していただくに当たり、取り組んでいること、課題になっていること

しょうがいの異なる種別間での理解や、難病の方が当事者として参加していないことが課題となっている。

(地域協議会を設置している区市町村)

- 4-2 当事者の委員だけでなく、地域で生活する多様な当事者（障害や難病の種別、性別、年齢等）の声を吸いあげられる地域協議会にするために、取り組んでいること、課題になっていること

相談支援事業者での連絡会などを開き、当事者と実際に多数会う相談支援事業者の意見の声も聴いている。